



MEIKAI UNIVERSITY

朝

風

平成15年7月20日発行 (年2回刊)

〈教育後援会だより〉

しおかぜ

発行/明海大学浦安キャンパス教育後援会
〒279-8650 千葉県浦安市明海8
電話 047-355-5112 FAX 047-355-2871
http://www.meikai-koenkai.com/

2003年度評議員会開催 新年度の事業計画、予算を採択

5月31日(土)第2管理研究棟3階会議室で2003年度教育後援会評議員会が開かれた。高倉翔学長をはじめとする大学関係者の臨席の下、新評議員を含む70名が出席して、昨年度の事業報告や決算報告、そして新年度の事業計画や予算などについて審議を行った。

今年度の評議員会は、季節はずれの台風が関東地方を通過する中での開催となった。審議にさきかけて教育後援会の山内善会長は「たいへんな雨の中、出席いただきありがとうございます。今年度の事業を決める評議員会なので、しっかりと審議してほしい」とあいさつした。

続いて大学側を代表して高倉翔学長が、昨今の大学をとりまく厳しい社会状況を説明し、生き残りのために教育後援会からのサポートをお願いしたいと述べた。

さらに、授業欠席状況調査や体育学・退学相談など、本学の学生支援システムを取り組みを説明。昨年は1

社会に役立つ大学へが身につく

を務めて講事へと移り、大側から今年度の学年暦、入試結果、在学生数、就職状況、就職指導など学務報告された。

大学から学生の活動を報告

また、近江事務部長から「2003年度の長期留学、短期海外研修派遣の実施予定についての説明があり、長期留学は約50人あり、長期研修は約300人です」と述べた。しかし、新型肺炎SARSの影響が出ている台湾、中国への留学者は、一時帰国させたり、これから派遣される短期海外研修については

2002年度 総括

200件の相談を受け、特に4・5月、9・10月が多かったことも、併せて報告



学生支援の鈴木主幹は、新入生歓迎会やサーキーティングなど、学生が主体となっており、授業欠席率、退学相談など、本学の学生支援システムを取り組みを説明。昨年は1

2003年度明海大学浦安キャンパス教育後援会 事業計画及び援助計画

〈教育後援会主体事業〉

1. 地区父母懇談会の開催 (4地区→6地区) 増設2地区
2. 教育後援会だより「潮風」の発刊 (年2回)
3. 教育後援会奨学金の貸与 (学部学生、留学生)
4. 学生への住宅相談、紹介 (借上集合住宅等)
5. 卒業生記念品の贈呈
6. 卒業アルバム贈呈
7. 国内大学施設等視察調査研修
8. 長・短期留学生奨学制度
9. 学生の慶弔に関すること
10. IT (後援会HP開設) の内容充実
11. 教育後援会表彰実施

〈学生の自主的活動(団体)への援助〉

1. 部・サークル等課外活動団体(学友会)への援助
2. 学園祭への援助
3. 学友会サーキーティングへの援助・参加協力
4. 学友会委員会リーダー大研修会への援助
5. 新入生歓迎会への援助
6. 留学生連合会主催行事への援助 (お月見パーティー、留学生ウエルカムパーティー、体育祭、グローバルピエースフェスティバル、中国・韓国・台湾留学生会主催交流会)
7. 契約施設利用者等の大会出場への補助
8. 契約施設利用者への補助
9. 山の家(アールパイン)、日本エアロビクスセンター、株式会社「つま恋」
10. 卒業パーティー実施への補助
11. 卒業アルバム制作費の援助

〈大学実施事業援助〉

1. 大学間協定による学生交流に伴う長・短期派遣学生への補助
2. 大学広報紙「MEIKAI」の増刷送付の援助
3. 就職対策セミナー等への援助
4. 大学施設整備及び学生食堂への援助
5. 少人数教育、学部研究費への援助
6. 部・サークル活動顧問教師への援助
7. 部活動コーチ、トレーナー等への援助

2003年度

自主事業と学生援助、大学援助 事業計画を発表 三本柱でバランスよく

ここで、今年から評議員となった新幹事15人が紹介され、大塚博行新会長など20人の役員幹事が選出され、満場一致で承認された。新体制が決まったところで、山内前会長から大塚新会長に議長をバトンタッチして、2003年度の事業計画案と予算案が発表された。

中止にして危険回避していると発表した。また、併せて報告された。審議に移り、2002年度の事業報告と決算報告が行われた。



も行われた。後援会の主体事業としては、関東、北陸、東北、東海と4地区で地区父母懇談会を開催したほか、韓国での父



今年度も引き続き、教育後援会主体事業と、学生の自主的諸活動への援助、大規模な自主的諸活動への援助、大学実施事業の充実と、今年度重点事業として

このたび、2003年度教育後援会は、今年で15周年を迎え、いよいよ充実した大塚でございます。そのことが学生として安心かつた大塚でございます。教育後援会会長を仰せつ

魅力ある大学づくりへ
全力支援
教育後援会会長 大塚博行



このたび、2003年度教育後援会は、今年で15周年を迎え、いよいよ充実した大塚でございます。そのことが学生として安心かつた大塚でございます。教育後援会会長を仰せつ

第一柱では、なんといつても地区父母懇談会の充実です。地方から大学へ来ている父母にとっては身近な場所です。先生方と懇談

基本方針として
本会は「父母と大学との緊密な連絡、会員相互の親睦を推進し、あわせて学生の福利厚生を増進と課外活動の援助等を計り、明海大学を基本方針としています。事業計画としては、具体的にホームページで告知

このたび、2003年度教育後援会は、今年で15周年を迎え、いよいよ充実した大塚でございます。そのことが学生として安心かつた大塚でございます。教育後援会会長を仰せつ

現代は「評価の時代」ともいわれています。「質の時代」を前提に、大学を含め、あらゆる対象の「質」が評価され、その結果により対象の「価値」が決定され、さらに、対象の「存続」が問われる時代となりました。昨年8月、文科省の中央教育審議会も「答申」(大学アクトイニシアシブ)に基づき、「違法状態」とも



学長 高倉 翔
「評価の時代」と明海大学

に、有効期間7年間の「大学基準適合認定証書」を交付されました。これを踏まえて、11月に「学校教育あり、平成16年度から施行される『認定認定制度』は義務的なものです。しかし、大学の「質の保証」という観点からは、一貫するものです。「第3者評価機関」による「評価」を受けることが義務づけられました。この制度は、『認定評価制度』と「評価」を受けなければなりません。その場合、評価の権を握り越えて、遅く前進しようとする「認定評価」の荒波を乗り越えて、遅く前進を続けて行きます。そのころ、明海大学に学ぶ学生や保護者を始め、明海大学ホルター(利害関係者)への責務であるとの自覚を新たにしております。教育後援会の皆様のご支援をお願い申し上げます。



新しい事業はないもの、これまで福島県、新潟県、静岡県、浦安キャンパスで開かれていた地区懇談会が、さらにもう1カ所、岩手県の盛岡市でも開催され、また浦安キャンパスで2年生を対象に行われている関東地区とは別に、3年生を対象とした就職懇談会も行うなど、内容の充実に力をいれた計画となった。

この日提案された新年度の事業計画は別表のとおりで、28にわたる事業が提案され、場一致で承認された。本年度の予算を見ると、収入は会費などで合計1億4300万円が見込まれて、支出は教育後援会だよりの発行、地区父母懇談会の開催、国内外の大学現況調査研修ほかの組織対策費として昨年より40万円多い280万円。学園祭の援助、学食の補助、表彰として全学年行事援助費、活動の協力費、教育・研究補助、卒業プログラム制作費援助、就職対策への補助、長期・短期留学を補助する学生交流援助金、奨学金事業繰出金など学生関係活動対策費が1億380万円となっている。このほか、会議費に340万円、管理費に1258万円など合計1億4312万円予算が計上されている。

2003年度評議員会 新評議員も うち解けた 懇親会



評議員会終了後、レストラン・コミュニケーションズに会場を移し、懇親会が開かれました。まず、役員幹事としての4年の任期を終えた山内薫さん、矢野日出子さん、仲田建治郎さん、大石澄子さん、吾郷真知子さんの5人が乾杯の後、料理やお酒を楽しみながら、先生方と関係命令に及ぶ措置が用意されています。第2は、「連成度評価」が重要な位置を占めるでしょう。第3は、「水準評価」です。日本の大学の国際的な競争力を高めるという国策とも関連しております。

今後、明海大学は、このように「認定評価」の荒波を乗り越えて、遅く前進を続けて行きます。そのころ、明海大学に学ぶ学生や保護者を始め、明海大学ホルター(利害関係者)への責務であるとの自覚を新たにしております。教育後援会の皆様のご支援をお願い申し上げます。

新役員・新評議員の顔ぶれ		2003年度 幹事	
会長	大塚博行	副会長	横濱孝雄
副会長	溝口正孝	計	鈴木陽夫
計	奥山藤雄	幹事	伊藤恵子
幹事	笠井俊秀	幹事	田中治江
幹事	石井満枝	幹事	岡崎正朝
幹事	加藤真知子	幹事	醍醐紀美子
幹事	佐々木守	幹事	服部重明
幹事	横山容子	幹事	徳原康光
幹事	宮内章雄	幹事	高崎真理子
幹事	阿部美佐子		

(敬称略)



屋外卓とシヨーカーズを寄贈!
昨年、屋外卓をサングラウンド周辺に10卓設置したところ、昼食時を中心に利用者が多く、また学生に好評のため、今年の5月に今回は、30周年記念館周辺に卓を増設した。また、学生食堂「アリス」のシヨーカーズが老朽化したため、以前より大きく、以前より大きく明るいシヨーカーズを寄付。多くのサングラが並べられるようになり、料理も選びやすく、より一層美味しく見えるようになった。

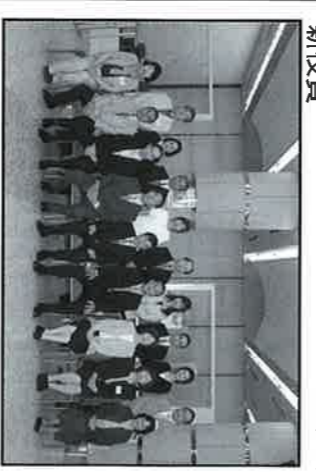


山内前会長が
名譽委員に



九州で地区懇談会も開催し、コミュニケーションズに会場を移し、懇親会が開かれました。まず、役員幹事としての4年の任期を終えた山内薫さん、矢野日出子さん、仲田建治郎さん、大石澄子さん、吾郷真知子さんの5人が乾杯の後、料理やお酒を楽しみながら、先生方と関係命令に及ぶ措置が用意されています。第2は、「連成度評価」が重要な位置を占めるでしょう。第3は、「水準評価」です。日本の大学の国際的な競争力を高めるという国策とも関連しております。

新役員		新評議員	
齊藤勝政	田澤和子	安藤修	藤原康光
高橋智也	服部重明	高橋信喜	高橋信喜
阿部美佐子	高崎真理子	高橋信喜	高橋信喜
伊藤憲之	大石幸雄	高橋信喜	高橋信喜
船木三恵子	平岡英一	高橋信喜	高橋信喜

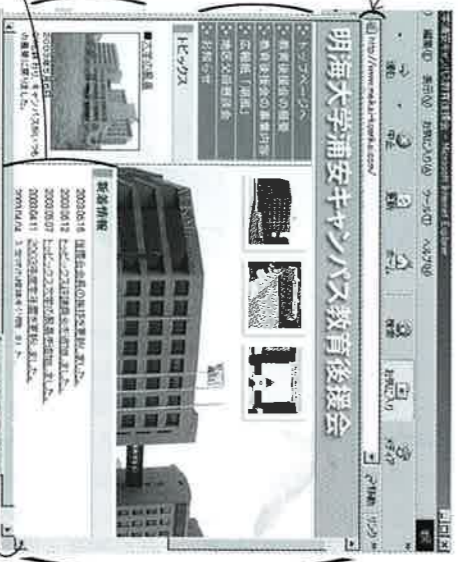


(敬称略)

明海大学浦安キャンパス教育後援会ホームページ http://www.meikai-koenkai.com/

トップ画面

アクセスすると大学の建物が登場する前に、1羽のカモメが右上から現れます。ここから各ページへすんでください。



アクセス
ここにアクセスを入力するが、Yahooなどの検索エンジンで、明海大学浦安キャンパス教育後援会を検索してください。

メインメニュー
各項目をクリックすると、いくつかわかりやすくの情報がわかってきます。

トピックス
色々な出来事を定期的に更新します。

最新情報

下にスクロールすると、教育後援会からのお知らせや、大学、同窓会のホームページへ直接リンクができます。

ぜひ、アクセスしてください。

今年の4月に開設した教育後援会のホームページ。6月上旬には、検索エンジンへの登録も順調にすすみ、6月単月のアクセス数は約1800件になりました。現在の内容は、教育後援会の概要や事業計画、地区懇談会の報告、会報「潮風」のダイジェスト版などのメインページを中心に、評議員会など随時開かれる会議や援助事業などをトピックスでお知らせしています。今後ともコンテンツの充実を図り、多くの情報を提供していきます。

